

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 飛騨センター設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課文化施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2459)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 255,552 千円 (前年度予算額：123,665 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	123,665	0	0	0	0	0	0	105,900	17,765
要求額	255,552	0	0	0	0	0	0	229,900	25,652
決定額	242,774	0	0	0	0	0	0	218,400	24,374

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・非常照明と非常用発電機切替え操作のための電源である蓄電池は、設置から8年が経過しており、点検の中で劣化症状が確認されている。故障した場合は非常照明が点灯せず、利用者の安全が確保できなくなる危険性があるため、更新する必要がある。
- ・加圧給水ポンプユニットは設置から19年が経ち、保守期限が切れていることから、部品交換による修繕が困難となっている。館内各所に給水する設備であり、ポンプが停止した場合は飲料水やトイレ排水等の使用ができなくなり、施設運営に多大なる支障を来すことになるため、更新が必要である。
- ・中央監視装置のリモート盤は、経年劣化により一部の機器の故障が発生している。故障した場合は、スプリンクラー等の消防設備類がすぐに作動しなくなり、利用者の安全が確保できなくなるため、更新する必要がある。
- ・空調の熱源装置である吸収式冷温水発生機の関連設備である冷却塔は、設置から19年が経過しており、経年劣化が進んでいる。吸収式冷温水発生機を稼働させるために必要な設備であり、館内の空調を適切に維持するために、予防保全として更新を実施する必要がある。
- ・飛騨センターの舞台設備は、全て設置から19年が経過しているが、飛騨芸

術堂吊物機構のワイヤーロープ更新を除き、大規模な設備改修は行われていない。各制御装置は既に生産終了しており、故障した場合は機器調整等に長期間を要することになり、イベント開催や貸館等の施設運営に多大なる支障を来すことになるため、予防保全として改修を実施する必要がある。

- ・ 飛騨センターのワイヤレスマイク設備は、全て開館当初に整備されたものであり、旧スプリアス規格の無線機器に該当する。旧スプリアス規格の無線機器は、令和4年12月1日以降の使用が法律で禁止されているため、館内全てのワイヤレスマイク設備を更新する必要がある。
- ・ 館内全ての電話設備は、設置後19年が経ち、経年劣化が進んでいる。施設利用者からの問い合わせの主な手段が電話であり、高山市の指定避難所や県の広域防災拠点として災害時の通信手段を確保しておく必要もあるため、予防保全として更新を行う必要がある。

(2) 事業内容

- ・ 蓄電池の更新
- ・ 加圧給水ポンプユニットの更新
- ・ 中央監視装置リモート盤の更新
- ・ 冷却塔2基の更新
- ・ コンベンションホール、ミニシアター及び飛騨芸術堂舞台設備の改修
- ・ ワイヤレスマイク設備の更新
- ・ 電話設備の更新

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

県民ふれあい会館設備改修事業費

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	255,552	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄電池の更新 ・ 加圧給水ポンプユニットの更新 ・ 中央監視装置リモート盤の更新 ・ 冷却塔2基の更新 ・ 舞台設備の改修 ・ ワイヤレスマイク設備の更新 ・ 電話設備の更新
合計	255,552	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

施設の計画的修繕に関して、施設の長寿命化計画を策定予定

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定している。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

指定管理者との協定に基づき県が実施すべきもののみを対象とする

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
蓄電池、加圧給水ポンプユニット、中央監視装置リモート盤、冷却塔2基、ワイヤレスマイク設備、電話設備の更新及びコンベンションホール、ミニシアター、飛騨芸術堂舞台設備の改修を実施し、安定的なセンター運営を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

県有文化施設の修繕に要する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
飛騨・世界生活文化センターペーパーライザー更新工事
飛騨・世界生活文化センター非常放送設備更新工事
飛騨・世界生活文化センター非常用発電機エンジン修繕工事
飛騨・世界生活文化センター飛騨芸術堂外壁塗装等改修工事

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
施設の改修等を実施することにより、センター利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	指定管理制度を導入するにあたり、県と指定管理者間で下記の取り決めを行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の大規模改修については、県の負担とする。 ・施設の修繕及び備品の負担区分については、 修繕：60万円以上 備品：10万円以上 を県負担とする。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	計画的に修繕を実施することで、大規模な破損を防ぐことが出来るため、利用者の利便性向上のほか、結果的にコストの削減につながっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	指定管理者より修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位の聞き取り調査を行いながら、計画的に実施する。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各種設備の経年劣化が進む中で、大規模改修が必要になってきている。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 設備の劣化状況を鑑み、計画的に修繕を実施していくほか、大規模改修については財政当局と協議をしながら、円滑な施設の維持管理を行っていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	

